

BEAT BLOCK

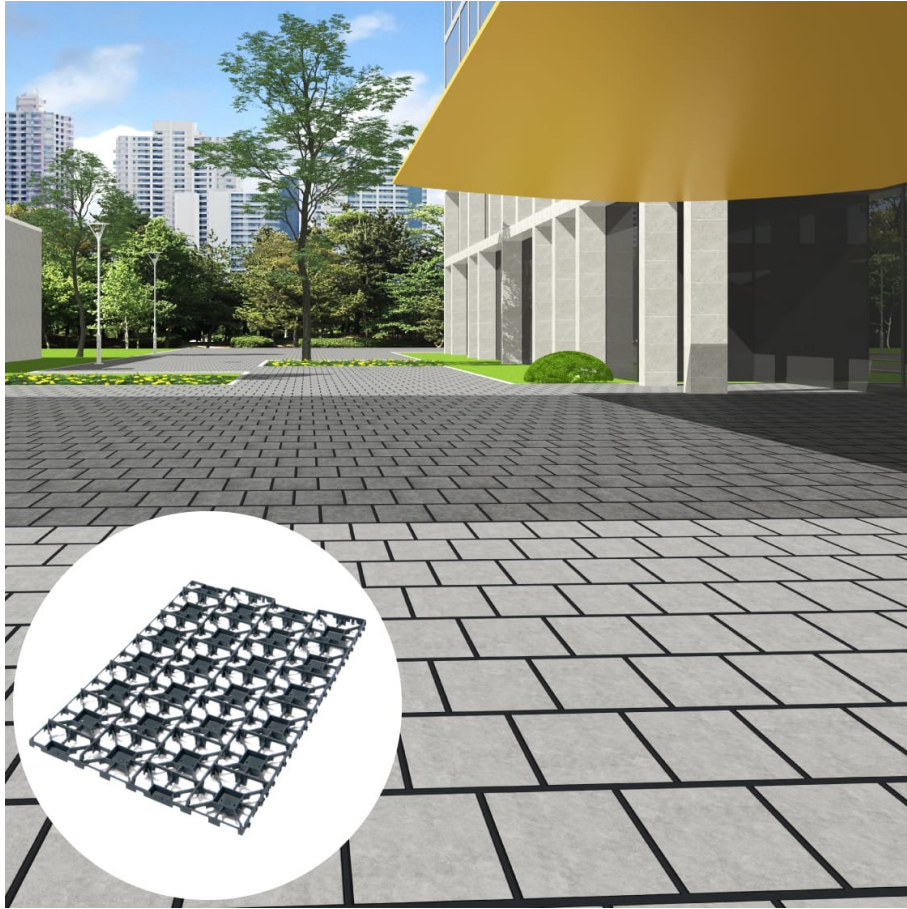
ビートブロック



ビートブロック標準施工マニュアル ～駐車場／歩行兼用～

※無断での他社へのデータ送信を禁止します。

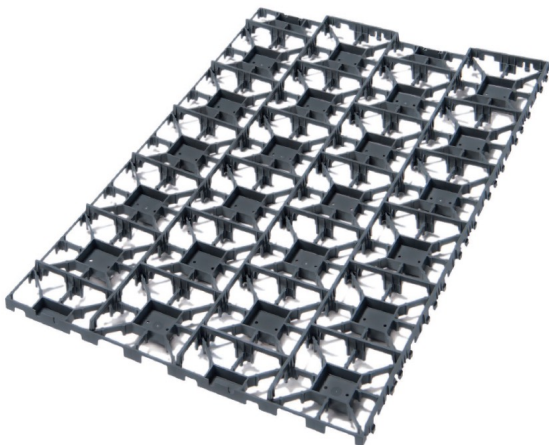
この施工要領書は、標準的な施工方法を説明しています。



■ 使用用途

駐車場／遊歩道／住宅アプローチ／遊歩道／ベランダ／バルコニー／屋上庭苑／プールサイド等

■ ビートブロック柵材仕様



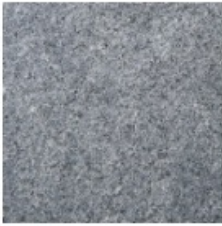
原材料 : ポリプロピレン (PurePP)
 生産国 : 日本
 本体寸法 : 947 x 634 x 40mm
 重量 : 約2.0kg
 耐荷重 : 約100t/m²
 使用タイル数 : 24枚/柵材 x 1枚あたり

登録意匠 第1715750号

■ 保管方法

直射日光の当たる場所での保管は避け、屋内に保管してください。
また、歪み防止のため、横積みで保管し、縦積みは避けてください。

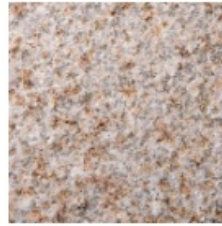
■ビートブロック専用タイル仕様



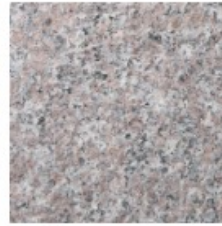
●トリュフ



●ココナッツ



●カシュウ



●フィグ



ジュニパー



カシス



サフラン

ストーンタイル

採掘された天然石材を使用。
 雨水に濡れたときの表情の変化も特徴。
 重厚感のある空間づくりに最適です。

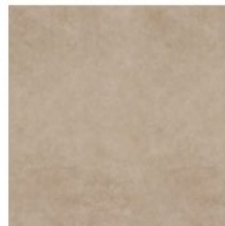
原材料 : 天然石材
 生産国 : 中国
 本体寸法 : 真物=147×147×20mm
 : ハーフ=147×73×20mm
 重量 : 約1.05kg/枚(真物)
 仕上げ : ジェットバーナー仕上げ



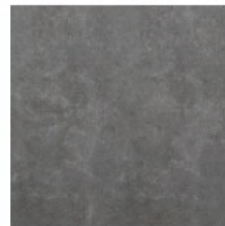
●プレーンブラック



●プレングレイ



プレークリーム



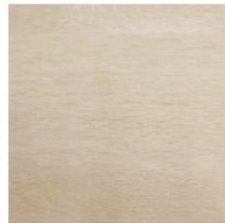
プレーンシャドウ



●アッシュウッデン



●オークウッデン



ビーチウッデン



フロスティウッデン

セラミックタイル

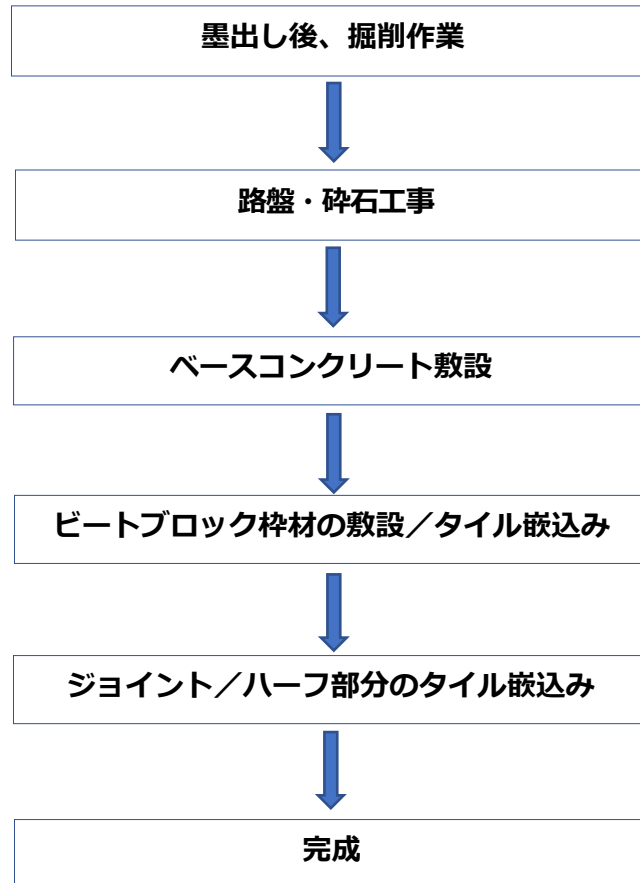
防汚性や耐久性に優れたセラミック製。
 木目調や自然石調の多彩なデザインで
 タイル舗装のバリエーションが広がります。

原材料 : 陶磁器
 生産国 : 中国
 本体寸法 : 真物=147×147×20mm
 : ハーフ=147×73×20mm
 重量 : 約1.2kg/枚(真物)
 仕上げ : 表面ノンスリップ加工仕上げ

- ※ ●がついているカラーは在庫色です。そのほかのカラーは注文ごとに海外から取り寄せるオーダー色です。
- ※ タイル・天然石のオーダー品のご発注はコンテナ単位での受注受付となります。ロット数量は基本150㎡単位となります。納期は約3ヶ月です。
- ※ タイル(柄モノ)・天然石は色調や模様が1枚1枚異なります。施工の際には事前に仮置きして模様を確認の上、施工をしてください。
- ※ タイルの裏面に欠けが見られる場合がございます。裏面の欠けについては商品上問題はございませんのでご了承ください。
- ※ 施工時の注意点については施工要領書をご確認ください。
- ※ 輸入商品のため、予告なしにデザイン変更や廃盤になる可能性がありますのでご了承ください。
- ※ ビートブロックはポリプロピレン (PP) が原材料のため、温度によって収縮します。
 そのため外気温によってタイル・石材が入りやすい入りづらいう現象が発生しますのでご了承ください。
- ※ 掲載写真はイメージです。実際の色が異なる場合がございますので、サンプルをご確認ください。
- ※ 施工時に使用するハンマーはゴム製ハンマーを使用してください。金槌を使用するとタイル・天然石が割れてしまいます。

標準工程について

施工手順フロー



施工上の注意について

- ・ 施工期間（養生・夜間含む）中を通し、**外気温10℃以下になるような環境下においては施工できません。**

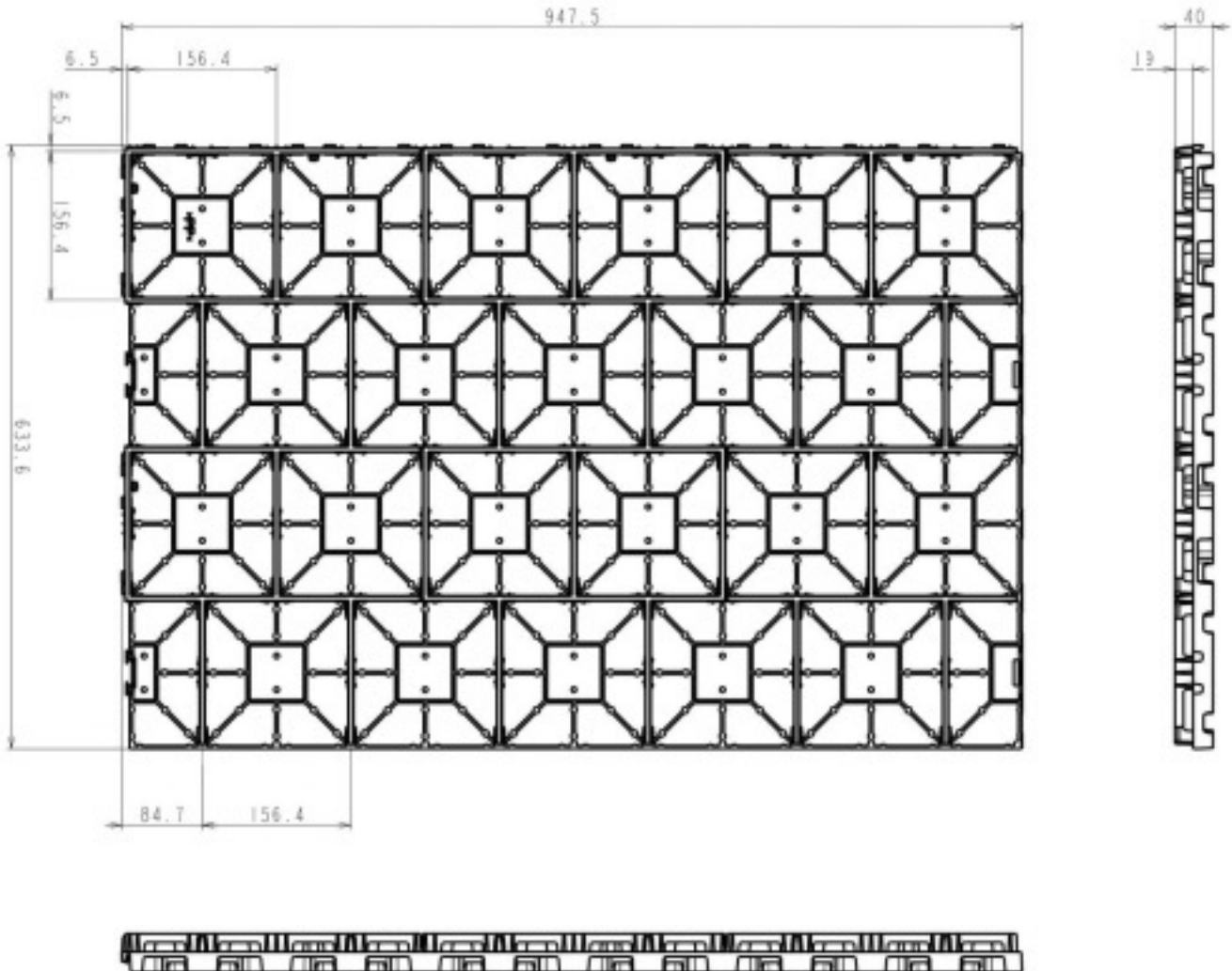
※ビートブロック柵材自体は素材がPP（ポリプロピレン）のため冬季温度によって柵材が縮小し、専用タイルが嵌らない、もしくは無理やり嵌めると柵材が歪んだり、割れたりしますので10℃以下の施工はできません。

寒冷地（北海道・東北等）においては4月上旬～10月下旬までを施工時期の目安とし、11月以降の施工は控えてください。

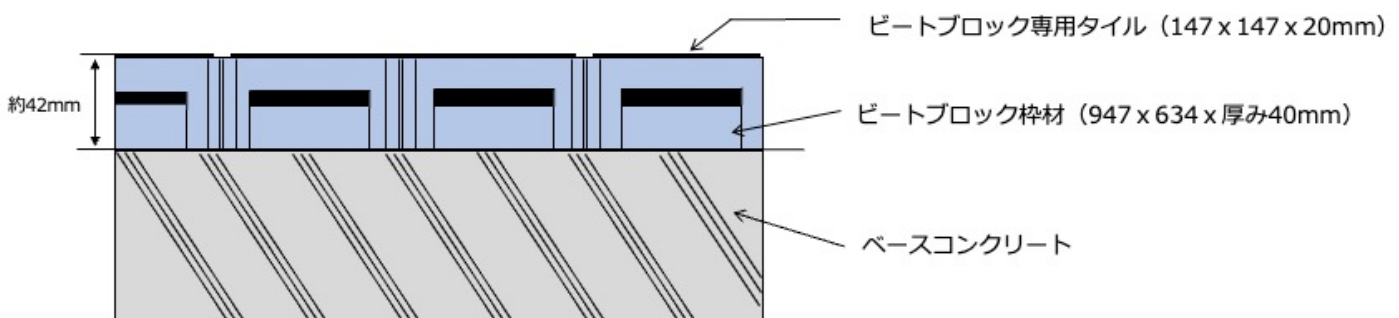
- ・ 現場でビートブロック柵材を保管する場合は水平な面に置いて保管してください。枕木などに置かないようにしてください。反りが発生する可能性があります。

承認図・断面図について

ビートブロック柵材の承認図



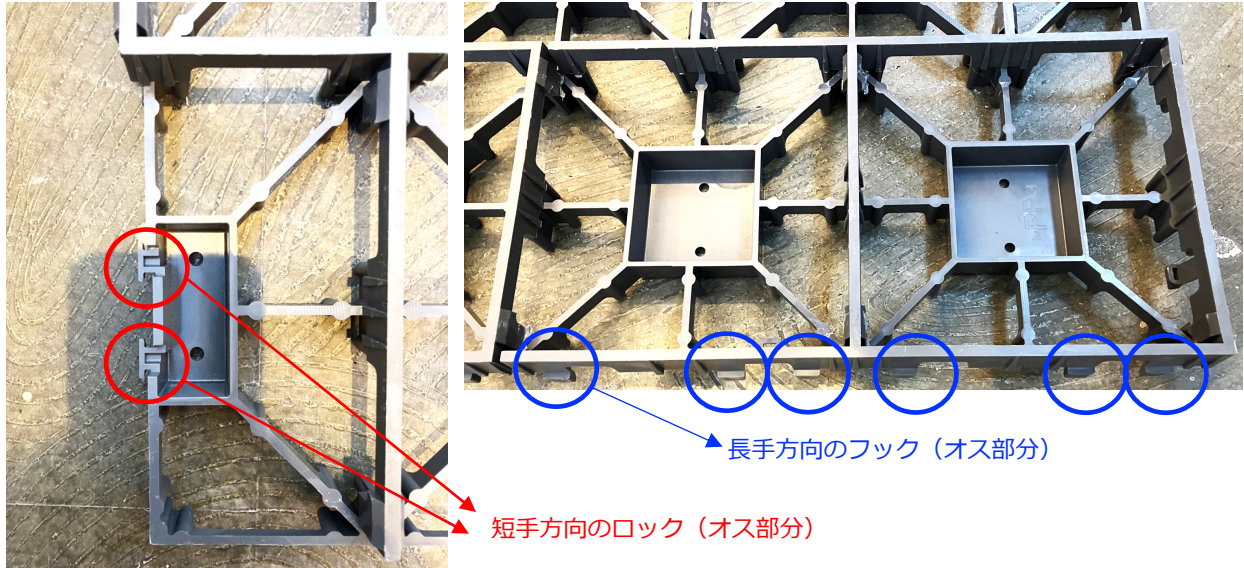
ビートブロック施工断面図



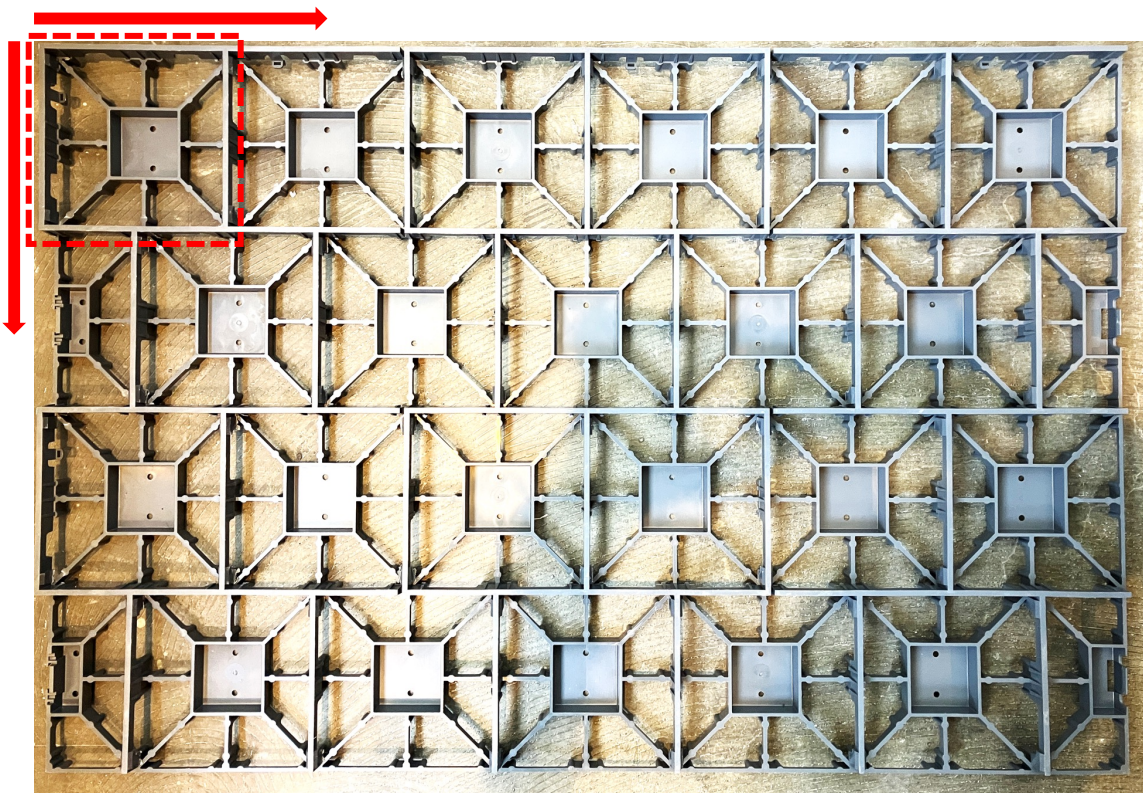
- ・ビートブロックの下地は歩行用の場合でもベースコンクリートを下地としてください。ベースコンクリートの敷設後、ビートブロックを施工していきます。

ビートブロックの施工について①

ビートブロックの枠材の並べ始めについて



- ・ビートブロック枠材は長手方向はフック、短手方向にはオス・メスのロックによって連結していきます。



- ・ビートブロックの枠材が連結して重なっていきますので、**4方全部枠で囲まれている赤点線の四角部分を起点として**（敷設始めの角部分として）矢印方向にそれぞれ敷設して並べてください。
- ・敷設する際、長手面／短手面のどちらの向きでスタートしても構いませんが、**連結は長手面を連結して敷設して並べてください。** **※並べ方の詳細は8ページを参照してください。**

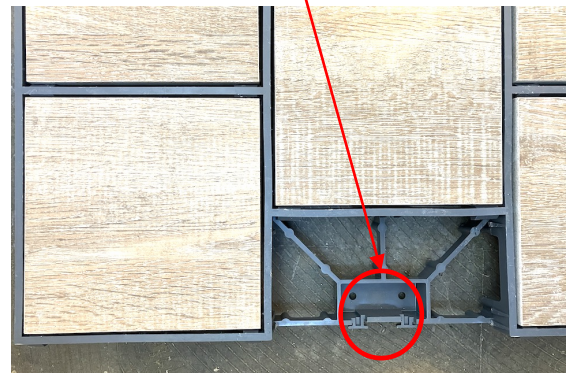
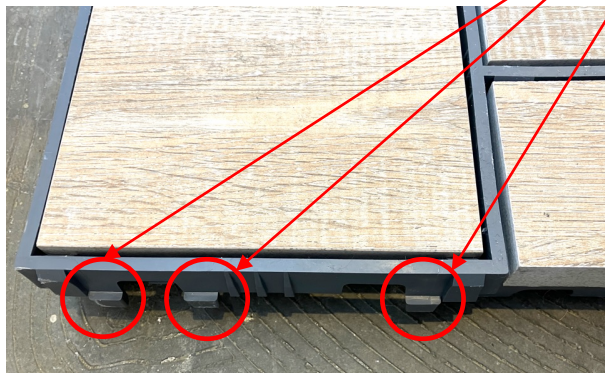
ビートブロックの施工について②

ビートブロックの見切りとの境界について

- ①下地のベースコンクリート施工が完了後、見切り材を設置します。見切りは高さ約42mm程度で高さ調整して民地石などを使用してください。

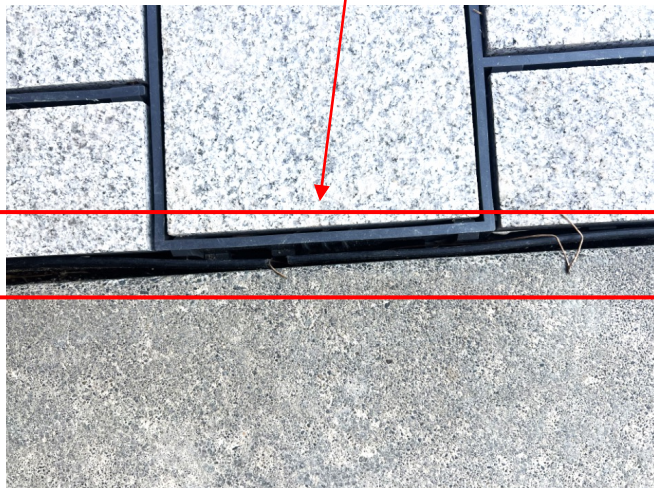


ペンチ/ニッパー等で見切りと隣接する枠材の連結部分の長手と短手のロック（オス部分）をカットしてください。



- ②ビートブロックの枠/専用タイルを並べて敷き詰めていきます。施工スタート時にエンド（見切り材と設置箇所）部分の連結ジョイントのオス部分をペンチ等で折って除去してください。

※カットしないで施工すると、下記のように見切り材との間に隙間ができてしまいますので注意してください。



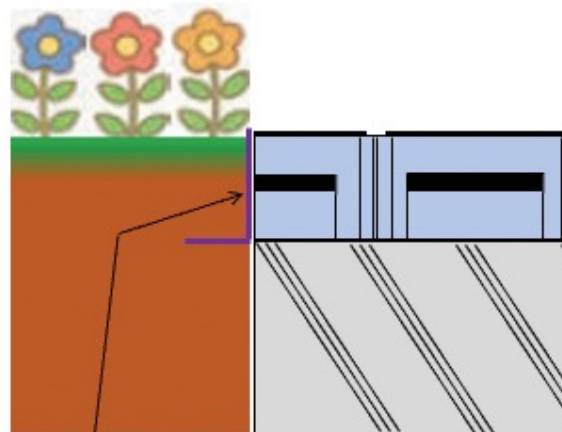
ビートブロックの施工について③

ビートブロックの枠材とタイルの並べかたについて①



- ③ビートブロックの枠材を並べる前に先に、片側に見切り材や民地石等（高さ45mm程度）を設置してから、ビートブロックの枠材を並べてください。

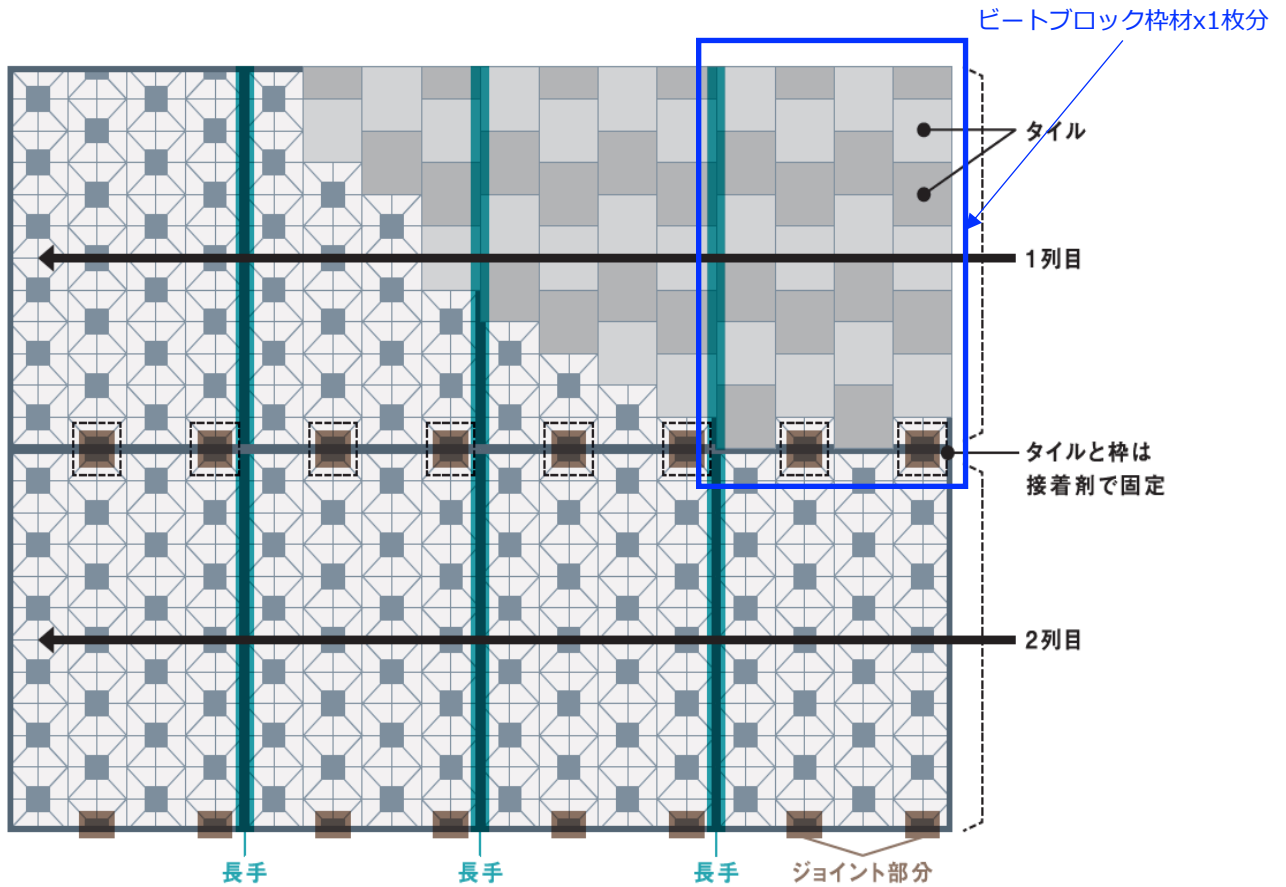
ビートブロックの枠材を下記写真のように、歩道のように連結して並べていくと、ズれていく可能性がありますので、必ず見切りに沿って、まっすぐ連結させていく必要があります。



見切り材 (H=45mm程度)

ビートブロックの施工について④

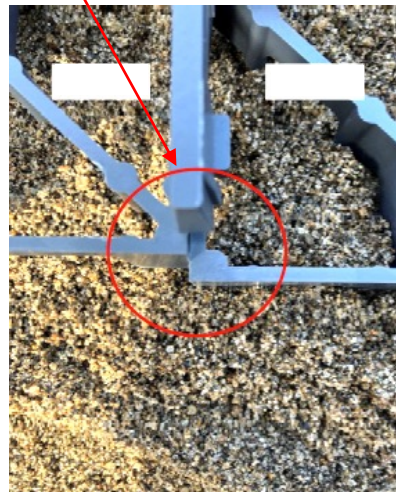
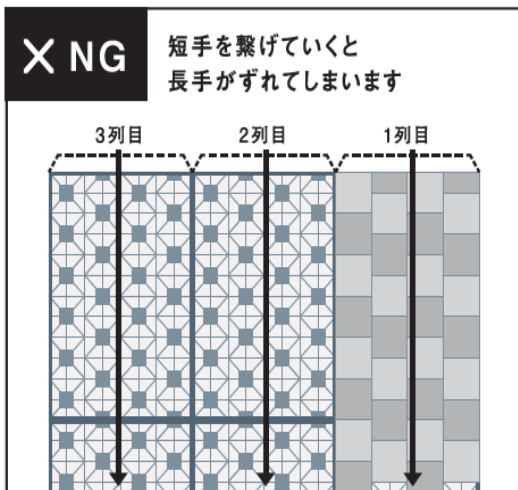
ビートブロックの枠材とタイルの並べかたについて②



④ビートブロックの枠材は敷地に対して縦方向で並べる場合は、敷地の右上方向から長手面をジョイントして敷設していきます。
 ※横方向で並べる場合は、敷地の左上方向からになります。

連結の際にジョイント部分にオス・メスの連結部材がありますので、左上から並べてしまうと連結の際に枠材を潜らせて連結させる事になる為、タイルが入っている状態では重くて持ち上げる事が難しく連結できなくなってしまうためです。

又、短手を繋げてタイルを入れてしまうと、タイルが嵌る事によって枠材が少し伸びる為、長手面のジョイントができなくなる可能性があります。



ビートブロックの施工について⑤

ビートブロックの枠材とタイルの並べかたについて



※写真は敷砂となっておりますが、
コンクリート下地で施工してください。

- ⑤ ビートブロック枠材を並べると同時に、**枠材の連結部分（ジョイント部分）以外に専用タイルも入れて施工してください。** ハーフタイル（半分にカットしたタイル）も予め用意しています。

※先に枠材を敷地面積全部に敷設してからタイルを入れると、枠材が伸びていく可能性があり全体的に伸びて収まらなくなる可能性がありますので、**必ず枠材のジョイントとタイルの嵌め込みをセットで進めていってください。**最後の収まり部分は、枠材/タイルをカットして調整します。



ビートブロックの施工について⑥

ビートブロックの枠材とタイルの並べかたについて



※写真は敷砂となっておりますが、
コンクリート下地で施工してください。

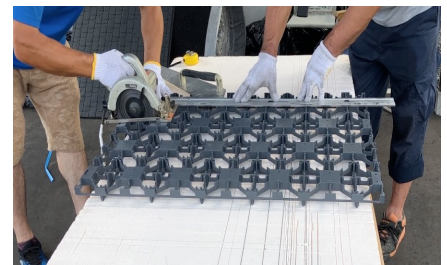


- ⑥タイルを嵌める際は真上からゴムハンマーや足で踏んでタイルを嵌めてください。
斜めに無理やり嵌めると枠材が歪んでしまったり、ハーフタイル部分と枠材の隙間が
空いてしまう恐れがあります。

ビートブロック枠材とタイルのカットについて



※写真は敷砂となっておりますが、
コンクリート下地で施工してください。



- ⑦曲線や見切り部分でカットが必要な部分には、サンダー等を使用し枠をカットして下さい。
タイルのカットはセラミック/石材用の刃を使用してください。

ビートブロックの施工について⑦

ビートブロックのジョイント部分のタイル施工について①



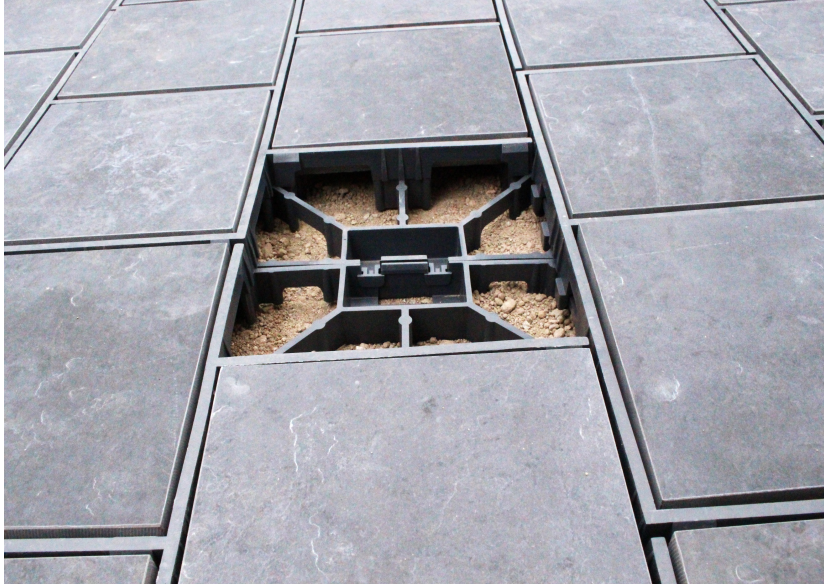
※写真は敷砂となっておりますが、
コンクリート下地で施工してください。

⑧ジョイント部分とハーフタイル部分はタイルが枠材に固定されませんので、
必ず接着剤で固定してください。

※接着剤はPP専用の接着剤を使用してください。
例) シャープ化学工業：ダンセイボンドPPシールなど

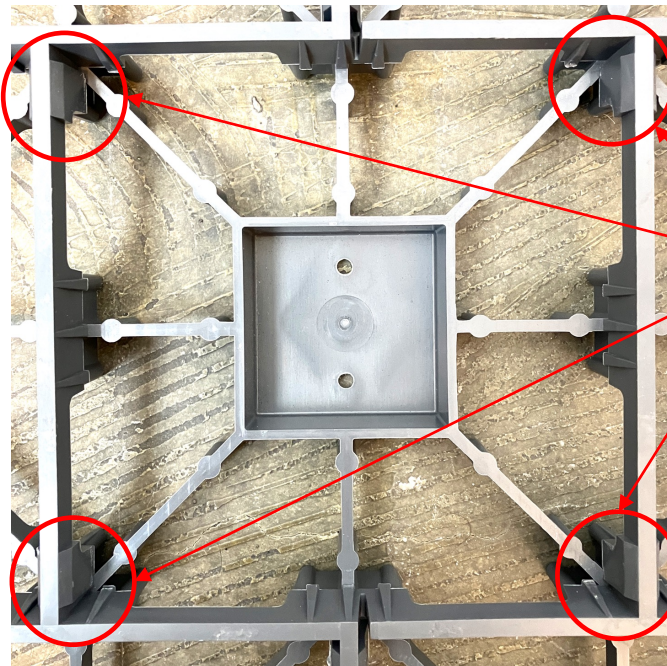
ビートブロックの施工について⑧

ビートブロックのジョイント部分のタイル施工について②



⑨ジョイント部分のタイルの嵌め込みがキツくなった場合は、タイルが嵌る4方枠内の端部分にある4箇所のリブ（赤丸印部分）をカッター等で削り落として取り除いてください。

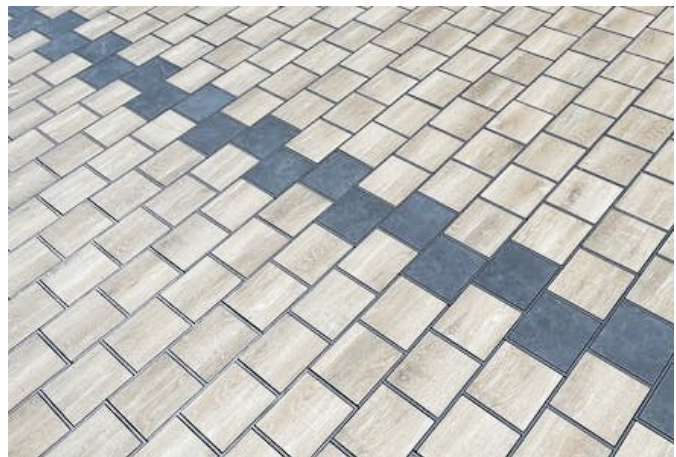
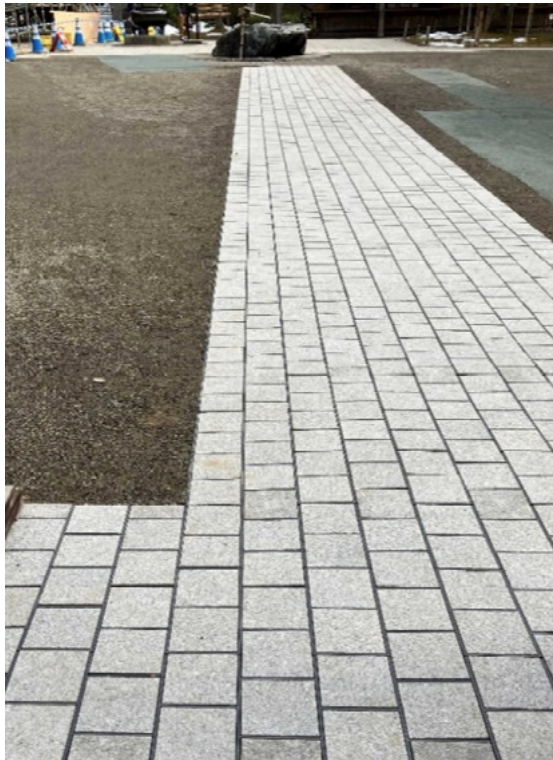
※キツイ状態で無理にタイルを入れると枠が歪がみ、モグラ叩き状態になって他場所のタイル浮き出てきたりします。



カッター等で枠材のリブ部分をカットしてください。

ビートブロックの施工について⑨

ビートブロック施工完成



⑩ビートブロックの貼り上がりのタイルは、多少不陸（デコボコ）になる場合があります。
※推奨：施工後、コンパネ等を敷いて、転圧機で転圧すると沈んでいきます。

